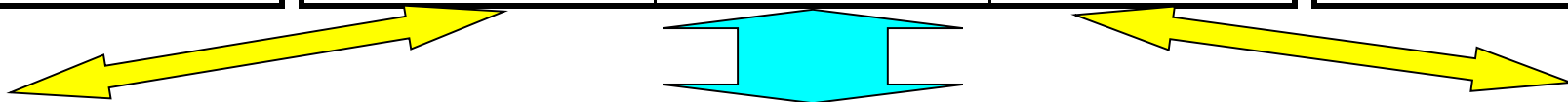


平成29年度 学力向上アクションプラン

B票

尼崎市立大成中 学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題	課題解決に向けた学校の取組（基礎力の定着、活用力の育成）			本年度の具体的な目標
	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	
<p>○市内到達度調査からみた課題（現3年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語が市内平均より0.6ポイント低いとくに、文章を読み解く力に欠ける面がある ・数学が市内平均より0.8ポイント低いとくに、中央値がおよそ39点となっていることは課題である <p>○校内アンケートより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業以外で1時間以上勉強している生徒は約40%しかいない ・自ら進んで勉強しようとする生徒は半数以下（48%）しかいない 	<p>○2020年から始まる大学の入試改革を踏まえ、新しい学力観に基づく授業スキルの育成を図る</p> <p>【(1)講師招聘支援を活用】</p> <p>○アクティブ・ラーニングや効果的な学習法などをテーマにした校内研修と研究授業を実施する</p>	<p>○放課後や土曜日に学校を学習環境として提供し、個に応じた自主的な学習を行い、家庭学習に対する意識付けを行う</p> <p>【(2)放課後等学習支援を活用】</p> <p>○テスト前の学習計画プリントや授業ワーク、さらに放課後自主学習などを通じて、家庭学習への動機付けを図る</p> <p>○インターネットを活用した家庭学習を促進する</p>	<p>○メンター制度などを用いて、若手教員の育成を図る</p> <p>○教員自らが主体的に研究大会等に参加し、研鑽に努める</p> <p>【(3)学力定着支援を活用】</p> <p>○英語と数学において新学習システムの加配を効果的に活用した少人数授業を実施する</p> <p>○ICT機器を活用した授業の工夫を推進する</p>	<p>○市内到達度調査からみた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館教育などの充実を図り、文章に親しむ機会を増やすことで読解力の向上を目指す。 ・数学はできる子とそうでない子の二極化が進みつつある。その解消を目指して、放課後学習などを通して、基礎的な問題と易しい応用問題に取り組むことで、中央値を押し上げる。 <p>○学習意識等の校内アンケートより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業以外で1時間以上勉強する」生徒の増加を目指す。 ・「自分から進んで勉強する」生徒の増加を目指す。



校種間連携	活用する支援内容		家庭・地域との連携
	支援内容	具体的内容	
<p>○小学校における学習内容の定着と家庭学習の習慣を身に着けるため「入学前の宿題」を作成し、卒業式前の児童に配付する。</p> <p>【(3) 学力定着支援を活用】</p> <p>○入学前テストを実施し、新入生全体の学習状況や個々の学力を把握し、中学校における学習に反映させる。</p> <p>○教員間の合同研修を実施し、学習や生活面に関する共通理解を図る。</p>	<p>(1)講師招聘支援</p> <p>(2)放課後等学習支援</p> <p>(3)学力定着支援</p>	<p>○職員研修「これからの学力観と大学入試改革」(案)</p> <p>○土曜学習 2h×25週</p> <p>○月曜学習 2h×20週</p> <p>○テスト前学習会 2h×16回</p> <p>○3年夏季休業中学習会 2h×10回</p> <p>○学習支援に使う用紙等に係る費用を支援</p> <p>○「新入生入学前宿題」作成</p> <p>○研究大会への参加</p>	<p>○定期考査や全国学力調査、学力生活実態調査などの分析を学校だよりなどを活用して適切に公表する</p> <p>○学力向上アクションプランを明示し、学習に対する本校の取り組みを理解してもらう</p> <p>○進路説明会を2年次から行うなど、早期から保護者も巻き込んだ形で学習意欲を高める工夫をする</p> <p>○地域人材を活用した放課後や土曜日学習を実施する</p>